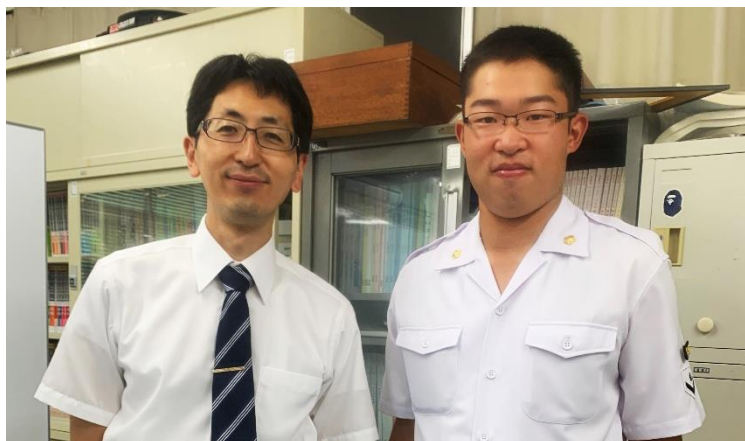


パイロット目指して奮闘中！ 海上自衛隊航空学生、母校を訪問



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）新潟募集案内所（所長 3陸佐 阿部浩二）は、6月24日（水）新潟市中央区の県立新潟南高等学校において、海上自衛隊航空学生による母校訪問を支援しました。母校訪問を行ったのは、今年3月に海上自衛隊航空学生として入隊した高橋一溪学生で、山口県の小月航空基地に所在する小月教育航空隊で教育を受けており、6月19日に新型コロナウイルスでの全国移動の自粛が緩和されたこともあり、3か月振りに新潟へ帰省していました。

当日は、新潟募集案内所長が同行し母校へ向かいました。高橋学生は、海上自衛隊の真白な制服に身を包み、航空学生教育で身に着けた堂々とした態度を見せ、担任教諭や部活動顧問教諭から歓迎を受けていました。同顧問教諭からは、「演劇部では、唯一の男子部員で、大舞台でも物怖じしない度胸が印象的だった。その度胸を活かして、パイロットの夢を叶えてほしい」と激励されていました。高橋学生は、「現在は、自衛官としての基礎を修得しながら、数学や物理、英語など、パイロットに必要な一般教養も学んでいます。まだまだ教育は始まったばかりですが、大空に飛び立つ夢に向かって、頑張っていきたいと思います」と決意を述べていました。

新潟地本は、今後も学校との緊密な連携を図りながら母校訪問等を支援し、学校側の更なる理解と信頼を獲得し、募集業務に邁進していきます。